

## 第42回宇宙安全保障部会（書面開催） 議事要旨

### 1. 日時

令和3年4月26日（月）

### 2. 参加者（安全保障部会委員）

青木部会長、片岡部会長代理、遠藤委員、折木委員、久保委員、白坂委員、土屋委員、鈴木委員、中須賀委員、名和委員

### 3. 議事要旨

事務局より委員に資料を送付し、安全保障分野の重点事項案について、以下のとおり意見回答があった。

- 宇宙のサイバーセキュリティの強化なしに米国との協力は不可能という議論があったことから、「宇宙状況監視の強化」に加え、「サイバーセキュリティの強化」を組み込まれたい。
- 我が国初の小型衛星等によるコンステレーションの構築は、早期警戒用とは別に、海洋状況把握 MDA、大規模災害対応、河川監視、漁業取り締まり、海洋汚染監視などの高頻度観測に向けて極めて有益であり、早期警戒用のコンステレーションとともに重要だと考える。この辺を読み取れるようにご配慮頂きたい。
- 「米国では・・・」という書き出しには確かに技術の流れではそうだが、少し違和感を感じる。そういう観点も含めて、見直すといわれている「小型衛星コンステレーションの活用に向けた米国との連携」という表現も、コンステに取り組む日本の主体性が感じられない。
- 宇宙利用の強化については、相当の危機感をもって急ぐべきと考える。とくに米軍との協力・分業の仕方について、早期に方針を決め、実施に移す必要があると考える。
- もう少し長期的な展望を含めると、米国との連携について、ホステッドペイロードに関する評価と今後の米国との連携に関する戦略作り、といったことも含めた方がよいように思う。
- 安全保障という点では、人工衛星を含む宇宙システムの防衛利用の確保が最重要ではないかと考える。また、宇宙システムのハードウェア的防護（電磁波を利用した攻撃を含む物理的な破壊行為からの防護）のみならずソフトウェア的防護（サプライチェーンリスクの低減や不正アクセスの防止等）についても言及されたい。

以上